

## 愛知県震度観測・調査報告書－第 29 報－の概要

### 1 調査の概要と目的

この調査は、地震動の伝わり方や地域特性を明らかにするため、県内全市町村に設置している計測震度計による震度情報ネットワークの震度観測データ等を活用して、平成 21 年 1 月～12 月に発生した地震と震度に関する調査結果をまとめたものである。防災対策の基礎資料、県民の地震に対する理解を深めるために活用されることを目的としている。昭和 56 年より 1 冊／年で発行しており、本書で 29 冊目となる。また、トピックスとして、最近の地震研究などに関する話題を掲載した。

### 2 愛知県震度観測・調査報告書－第 29 報－の概要

#### (1) トピックス

##### ア 新しくなった地震動予測地図

従来の地震動予測地図が大幅に改定され、新しい地図が 2009 年 7 月に発表された。主には、①地図のメッシュの長さを 4 分の 1 にすることで、細かい地形・地盤の違いが反映された、②地盤による揺れの増幅度が見直され、揺れやすさを評価する範囲が広がった、③インターネットにより詳細な図を閲覧する機能が整備された、の 3 点が改定された。

##### イ 2009 年 8 月 11 日駿河湾の地震はなぜ東海地震への影響が少ないとされたか

この地震では、制度ができてから初めての東海地震観測情報が発表され、東海地震との関連が注目されたが、最終的には東海地震には結びつかないという判断がされた。ここではそのような判断がなされた理由について、地震が発生した位置やひずみ計の観測記録、GPS 観測網の解析データによりわかりやすく解説している。

##### ウ 愛知県とその周辺域で発生している「日常的な」地震活動

人体に感じない小さな地震（微小地震）は日常的に発生しているが、その発生個所は特定の地域に偏っている。地震が発生する場所での地殻の物理的特性等が把握できれば、将来の地震の予知に近づくことが可能であり、微小地震の観測・解析がその 1 つの手法である。ここでは、愛知県周辺の活動状況について、特徴的な地域を取り上げて解説している。

#### (2) 震度観測資料

##### ア 愛知県における地震

平成 21 年に、県内のいずれかの市町村で、震度 1 以上が観測された地震の発生は 26 回であり、震度 4 以上が観測された地震の発生は 1 回であった。

##### イ 国内の主要な地震

平成 21 年に、国内で、被害を伴った地震の発生は 6 回であり、死者を伴う地震の発生は 1 回であった。

##### ウ 世界の地震

平成 21 年に、世界で、人的被害を伴った地震の発生は 40 回であり、死者 10 名以上の地震の発生は 7 回であった。

### 3 調査研究成果の活用

調査報告書は、防災会議に報告するとともに、防災関係機関、市町村に配付し、地震防災対策の基礎資料として活用する。

また、県民が自由に閲覧できるように公立図書館、県民生活プラザ等に配付し、地震についての理解を深めてもらう。